

鹿嶋神社の秋

七五三詣 男の子が3歳・5歳
女の子が3歳・7歳 のお祝いです

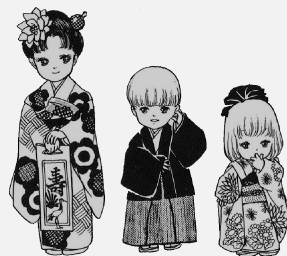
七五三は一般に3才は男女児、5才は男児、7才は女児のお祝いとされています。3才を「髪置（かみおき）」・5才を「袴着（はかまぎ）」・7才を「帯解（おびとき）」と言い、いずれも乳幼児期から子供への成長を感謝し、さらに健やかで美しく聡明に育つようにと氏神さま（鹿嶋神社）に参詣し、願いする行事です。七五三と言えば11月15日ですが、鹿嶋神社では9月23日から七五三の祈禱（お祓い）ができます。

【祝い年】七五三詣は、数え年でも満年齢でもできます。

3歳 男・女の子：令和 2年生（数え年）又は 令和 元年生（満年齢）
5歳 男の子：平成 30年生（数え年）又は 平成 29年生（満年齢）
7歳 女の子：平成 28年生（数え年）又は 平成 27年生（満年齢）

七五三のご祈禱を受けた方に

お神札・お守り・千歳飴（5本入り）・守護矢
「日本の神話」の小冊子・折り紙
特製「ディズニーぬりえ」を授与します。



～みなさまからのご質問に答えて～

- Q：七五三にはどうして氏神さまにお参りするのですか？
A：氏神さま（鹿嶋神社）は私たちの住んでいる地域をお守りくださっている神さまだからです。家族一人一人をいつも守って下さっている氏神さまに感謝申し上げ、これからのお子様の健康な成長とご加護をお願いするためです。
- Q：数え歳（かぞえどし）について教えてください。
A：満年齢は、生まれた時を0歳として、誕生日が来ると1つ年をとります。しかし、数え年は、生まれた時を1歳として、お正月が来ると1つ年をとります。これは、「お母さんのおなかの中で十月十日（とつきとうか）、約一年間はぐくまれ誕生した」と考え、昔の日本では生れてきた赤ちゃんを数え1歳と数えたわけです。

七五三詣や初宮詣においでになる方へのお願い ～コロナウイルス感染拡大防止のために～

- ☆社殿に入る人数の制限
社殿に入れるのは、七五三詣や初宮詣のお子さんとお両親とお兄弟までとします。祖父母や親せきの方は、外でお待ちいただきます。
☆手指の消毒・マスクの着用をお願いします。
☆社殿では、私語をお慎みください。
☆体調がすぐれない時には、お参りをお控えください。



※神職や巫女・その他の職員はマスクを着用して対応します。悪しからず、ご了承ください。



【厄祓い・延寿祭のご案内】

今年まだ厄祓いを受けていないお父さんお母さんは、お子様の七五三のお祓いと一緒、厄祓いの祈禱もできます。また、還暦などの年祝いのお祓いを受けていないおじいちゃんおばあちゃんも、お孫さんの七五三と一緒に、延寿祭の祈禱もできます。受付にてお申込みください。



のし袋の書き方

【七五三祈禱の受付期間と時間】

9月23日(祝)～11月27日(日)の
午前9時より午後4時まで 随時受付

※平日は、要予約です。
※上記期間中の土・日・祝日の祈禱（お祓い）は、予約不要です。
※11/23の祈禱は、新穀感謝祭の祭典のため、祈禱殿で行います。
※お守りお札の授与時間は、祈禱受付時間内です。

【お初穂（はつぽ）について】

七五三詣のご祈願は、
お一人5,000円です。
初宮詣・交通安全・厄祓いなど、
個人のご祈願は、1祈願5,000円です。

令和4年 厄年早見表 ※年齢は数え年

男	女
41歳(昭和57年生)	32歳(平成3年生)
42歳(昭和56年生)	33歳(平成2年生)
43歳(昭和55年生)	34歳(平成元年生)
25歳(平成10年生)	37歳(昭和61年生)

令和4年 延寿祭早見表 ※年齢は数え年

還暦(かんれき)	61歳(昭和37年生)
古希(こき)	70歳(昭和28年生)
喜寿(きじゅ)	77歳(昭和21年生)
傘寿(さんじゅ)	80歳(昭和18年生)

【お酒のご奉納について】

七五三のご祈禱（お祓い）の折、お酒を奉納し家内安全や無病息災を祈りましょう。奉納されたお酒は、神前にお供えし神さまにご奉告します。奉納された方には記念品を授与します。
※お酒の奉納は、1升もしくは2升で、「箱入り・のし紙付き」でお願いします。